

報道関係者各位

2020年11月9日
株式会社ゆうちょ銀行

キャッシュレス決済サービスに関するセキュリティ総点検の結果について

株式会社ゆうちょ銀行（東京都千代田区、取締役兼代表執行役社長 池田 憲人）が提供するキャッシュレス決済サービスに関するセキュリティの総点検の結果について、以下のとおり、お知らせいたします。

1. セキュリティ総点検タスクフォース結果の概要

- ※ 詳細は、別添資料「キャッシュレス決済サービスのセキュリティ総点検タスクフォース報告書（以下、報告書）」をご参照ください。
なお、本セキュリティ総点検の結果については、第三者による評価を受けております。

（1）点検対象 …[報告書 P1、P10]

即時振替サービス（双方向含む）、mijica、ゆうちょ Pay、JP BANK カード

（2）点検事項 …[報告書 P1]

点検事項は以下の 2 項目とし、サービスの登録から利用後までの各フェーズ単位で、キャッシュレス推進協議会ガイドライン※（以下、ガイドライン）等で定める必須項目を点検しました。

※コード決済における不正な銀行口座紐づけの防止対策に関するガイドライン

- ・ 本人認証にかかる検知、防御態勢
- ・ 取引データに基づく不正取引の検証態勢

【登録から利用後までのフェーズ】

フェーズ（登録から利用後まで）				
①アカウント作成	②銀行口座紐づけ	③チャージ	④決済・送金	⑤取引後

- ※ 上記の各フェーズ単位で点検を行うため、即時振替サービスについては、サービス提携事業者側も含めた点検を実施しました。（サービス提携事業者側はセキュリティ対策の実施後、ゆうちょ銀行は現状（セキュリティ対策の実施前）における点検）

（3）総点検結果とセキュリティ強化策の概要

① 即時振替サービス（決済事業者） …[報告書 P12～P18]

ア コード決済事業者：6 社（PayPay、LINE Pay、NTTドコモ、メルペイ、ファミマ決済、pring）
については、ガイドライン等が定める必須項目全てについて点検を実施しました。

[点検結果]

6社中5社は必須項目を全て充足していることを確認しました。

なお、残りの1社については、回答を受領後、追加確認を要する事項があったため、現在評価を実施中です。

イ その他決済事業者6社（Kyash、ウェルネット、PayPal、ゆめカード、楽天Edy、ビリングシステム）については、チャージ機能がないなどサービス形態・内容に合わせてガイドラインの定める必須項目の中から該当する項目について点検を実施しました。

[点検結果]

6社中3社は必須項目を全て充足していることを確認しました。

また、1社については、充足していない項目を本年12月中に対応予定であり、1社については、回答を受領後、追加確認を要する事項があったため、現在評価を実施中です。なお、残り1社については、回答内容を同社と協議中です。

ウ ゆうちょ銀行

ガイドラインおよび不正取引事案をもとにチェックリストを策定し、当該チェックリストの項目について点検を実施しました。

[点検結果]

必須項目を全て充足していることを確認しました。

なお、二要素認証については、2020年9月中旬までにすべての決済事業者において導入を完了しております。

[セキュリティ強化策] (高度化項目であるモニタリング態勢の整備を含む)

- 口座紐づけ時の監視機能の構築およびモニタリング態勢を整備します。
- 口座紐づけ時におけるお客さまあて通知（お手紙）を実施します。
- 口座紐づけ時の二要素認証において、残高認証を導入している決済事業者(1社)に対し、IVR認証(自動音声応答)の導入に向けた協議を行います。
- チャージ時の異常な取引の監視機能の構築及びモニタリング態勢を整備します。
- 不正取引の確認をお願いするお手紙が、宛先不明等によりお届けできなかったお客さまについては、口座紐づけを一旦解除させていただきます。

上記のセキュリティ強化策は、2020年12月を目途に準備いたします。

② 即時振替サービス（決済事業者以外） …[報告書 P19~P20]

ア 即時振替（決済事業者以外）：17社（公営競技、証券会社、ノンバンク、ECサイト）

ECサイトを除く16社については、サービスが特定の目的に限定された資金移動であるとの特性を考慮した結果、ガイドラインの必須項目の中に該当項目はなしとしました。

一方、EC サイト事業者については、ガイドラインの必須項目の中から該当する項目について点検を実施しました。

[点検結果]

EC サイトについて、必須項目を全て充足していることを確認しました。

イ ゆうちょ銀行

ガイドラインおよび不正取引事案をもとにチェックリストを策定し、当該チェックリストの項目について点検を実施しました。

[点検結果]

必須項目を全て充足していることを確認しました。

[セキュリティ強化策]

- 不正が発生するリスクは相対的に低いものの、お客さまの預金保護の観点から、セキュリティをより高めるため、二要素認証（IVR 認証）の導入に向け協議を始めます。

③ ゆうちょ Pay …[報告書 P25～P27]

ゆうちょ銀行側でサービスに係る全てのプロセスを提供していることから、ガイドライン等および不正取引事案をもとにチェックリストを策定し、当該チェックリストの項目について点検を実施しました。

[点検結果]

必須項目を全て充足していることを確認しました。

④ mijica …[報告書 P28～P31]

ゆうちょ銀行側でサービスに係る全てのプロセスを提供していることから、ガイドラインおよび不正取引事案をもとにチェックリストを策定し、当該チェックリストの項目について点検を実施しました。

[点検結果]

必須項目（22 項目）のうち、会員サイトへの不正ログインを検知する仕組みや送金時における認証のアカウントロックなど 14 項目が未実施または不十分でした。

今回の総点検において、セキュリティ対策が未実施または不十分であったサービスは、停止しております。（9 月 16 日に送金機能、10 月 3 日に専用 WEB サイトを停止）

現在、提供しているデビットカード機能等のサービスについては、今回の点検項目に該当するセキュリティ上の問題はなかったことから、引き続きご利用いただけます。

[セキュリティ強化策]

- 対応が必須となる項目が多岐にわたることから、スコープを今後のサービス戦略にまで広げ、ゆうちょ銀行のビジネス方針としての対応を早急に整理します。

⑤ JP BANK カード …[報告書 P32~P34]

ゆうちょ銀行側でキャッシュレス決済サービスに係る全てのプロセスを提供していることからガイドラインおよび不正取引事案をもとにチェックリストを策定し、当該チェックリストの項目について点検を実施しました。

[点検結果]

JP BANK カード (JCB)、JP BANK カード (VISA/Master) とともに、必須項目を全て充足していることを確認しました。

(4) 第三者評価結果

国内大手サイバーセキュリティ・コンサルティング会社による第三者評価を実施し、以下の見解を得ております。

【評価結果】

貴行が実施したセキュリティ総点検について、その計画から点検実施結果及び今後の改善計画についてセキュリティ専門家としての客観的な観点で評価を行った。

その結果、一部事業者（サービス停止中である事業者）について貴行による点検が完了していない状況があるものの、それを除き総点検は適切に履行されたと評価できる。

今後、未了となっている事業者に係る点検を完了させるとともに、本総点検において識別された課題対応及び更なるセキュリティ強化・高度化に向けた取り組みを継続実施されたい。

2. mijicaWEB 不正ログイン・mijica カード不正作成の追加調査結果

10月4日および10月6日の報道発表の際、今後、調査対象期間を拡げ、不正ログインやカードの不正な作成・利用について確認することとしておりましたが、調査対象期間を2020年4月1日から7月27日に拡大して調査を実施したところ、結果は以下のとおりです。

(1) 不正ログイン

10月4日に報道発表を行った不正ログインされた可能性がある1,422人のmijica会員のお客さま以外に不正ログインされたと思われるお客さまはいないことを確認しました。

(2) mijicaカードの不正な作成・利用

10月6日に報道発表を行った不正な作成・利用の可能性のある3件のほか、新たに3件が確認され、合計6件となりました。今回新たに確認された3件については、いずれもmijicaカードは返戻されており、その時点でカードは停止済みです。(新たに確認された3件について、いずれも不正利用のお申し出はありません。なお、名義人のお客さまとは連絡がとれておりません。)

3. キャッシュレス決済サービスにかかる今後の対応

今回のタスクフォースによる総点検の結果を踏まえ、今後、即時振替サービスのセキュリティ強化策(1-(3)-①-ウ)、即時振替サービス(決済事業者以外)への協議(1-(3)-②)、mijicaの対応(1-(3)-④)などのセキュリティ強化策を着実に実行してまいります。

mijicaについては、新規サービスの構築や他のペイメントサービスによる代替案も含めたサービス戦略の具体的な施策を早急に決定します。

併せて、今後公表が予定されている全国銀行協会によるガイドライン等への対応も踏まえ、総合的な苦情・相談対応態勢を強化(キャッシュレスサービス全般のご相談窓口一元化、お客さまの目線で苦情・相談に対応する組織・機能の抜本的強化等)するとともに、セキュリティ検証態勢の強化(セキュリティリスク管理に関する2線部署の機能強化等)、補償方針の明確化等、お客さまに安心・安全にサービスをご利用頂けるよう態勢整備を可及的速やかに進めてまいります。

なお、ゆうちょ銀行としては、キャッシュレスサービスを重要施策と考えており、現在停止しているサービスの再開については、上記の課題への対応を進める中で並行して、再開にあたっての具体的な条件や再開時期について検討し、決定次第、速やかに公表します。

以上